

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月8日作成)

小委員会名	メーソンリー工法改良研究小委員会	主 査 名：千歩 修 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：野口 貴文 主 査 名：川上 勝弥
設 置 期 間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>CB 塀、補強 CB 造等で確実な施工が難しく、問題を生じているものがある。具体的には、RC 部・CB 部界面の鉄筋腐食、逐次充填工法の充填不良、かぶり厚さの不足等がある。これらの問題は、使用材料・施工方法を変えることによって改善できるものも多い。このため、工法の問題点・改善方法を検討す。</p> <p>初年度：メーソンリー工法の材料・施工上の問題点・改善方法について検討を行い、各年度の具体的な活動計画を策定する。</p> <p>2年度：主に、防錆鉄筋の使用について検討を行う。</p> <p>3年度：主に、既調合モルタルについて検討を行い、実験的検討も検討する。</p> <p>4年度：その他の改善方法について検討を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：千歩修(北海道大学) 幹事：三田紀行(三重大学) 委員：青木功(エスビック)、青木孝義(名古屋市立大学)、足立裕介(北海学園大学)、石井克侑(太陽エコブロック)、石井宏和(太陽エコブロック)、井上斉(ワシロック工業)、井上芳生(INO 建築構造研究室)、川上勝弥(小山工業高等専門学校)、高橋和雄(太陽エコブロック)、田口博之(ユニゾン)、長谷川直司(国土技術政策総合研究所)、眞方山美保(国土技術政策総合研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会HPアドレス： 無

項 目	自己評価
委員会開催数	2回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	対面・Zoom ハイブリッド会議およびメールによる審議のため、当初の活動計画とした内容の検討を十分に行えなかった。主に、問題点の検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	コロナ対策を継続したため、対面の会議を十分に行えず、予定した活動が行えなかった。